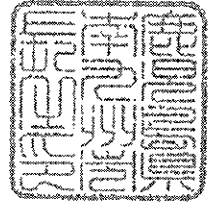


南九企第7760号

平成20年10月24日

国土交通省道路局長 殿

南九州市長 霜出勘平



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったことについて別紙のとおり提出します。

問い合わせ先

南九州市総務部企画課

担当 金田

TEL 0993-83-2511

内線 2040

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県南九州市

道路は地域経済の活性化や地域福祉といった生活環境の向上を図る上で最も重要な社会資本であり、地方の活力あるまちづくりに欠かせない重要な要素であるのはもちろんのこと、大型地震等の災害による集落の孤立防止など危機管理の上からも大事な施策のひとつであります。

そのようなことから、道路整備において国は、単に費用対効果のみに重点を置くことなく、電車や地下鉄といった多様な移動手段が確保された都市と、あらゆる移動手段を車のみに頼らざるを得ない地方との違いを御認識いただき、地方の実情を十分に把握した道路整備に要する予算の配分等に御配慮いただきたい。

また、現在整備を進めていただいている南薩縦貫道は、南薩地域と県都鹿児島市のみならず、九州の高速道路網とを連結する薩摩半島の骨格道路として地域の産業経済・教育文化の振興に計り知れない影響を与え、21世紀の南薩地域のみならず鹿児島の発展に欠かせない重要な道路であります。さらに、南薩地域は農畜産物の食料供給基地としての重要な役割を担っていることから、今後、南薩縦貫道の果たす役割は更に増してくることが予想されます。このようなことから、南薩縦貫道の地域経済、地域振興への影響等を御賢察いただき、その整備促進について特段の御配慮を賜りたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

鹿児島県南九州市

○現状

本市は平成 19 年 12 月に三町が合併して誕生したものであり、従来の道路整備については旧町内の幹線市道と国県道とを結ぶ路線を優先的に行っており、旧町間を結ぶ市道の整備は非常に遅れています。

県道は、防災及び交通利便性向上のため必要な道路ですが、整備が遅れている区間があります。

南薩縦貫道は、地域高規格道路として平成 10 年 6 月に計画路線に指定されて以来、現在までに共用されているのは、鹿児島インターから谷山インター間のみであり、川辺ダム国道 225 号間は整備区間、国道 225 号から知覧間は調査区間、谷山インターから川辺ダム間と知覧から枕崎間は計画路線であります。

昭和 30 年代～40 年代に架けられた橋梁については、老朽化が進んでいます。

○課題

旧町時代からの整備計画と、合併後新たに必要となった整備計画との調整が必要です。

未整備区間の早期整備が望まれています。

南薩縦貫道は、南九州市の農畜産物の輸送、経済・観光面での交流人口の増大など地域経済の活性化を図る上で大きな期待が寄せられており、一日も早い早期完成が望まれています。

合併後の市内全域の橋梁の現状を正しく把握するため橋梁点検を実施する必要があります。

今後の道路行政についての意見・提案

様 式 ②

②－２ 地域の目指すべき将来像

鹿児島県南九州市

市内を東西南北に結ぶ幹線道路や交通網の整備を進め、人や物の交流を促進し、産業面及び観光面での地域経済の活性化を促進します。また、本市は、南薩地域の中心に位置しており、地理的側面からも本市は大きな役割を担っており、その実現のため南薩縦貫道の整備促進を進めると共に、骨格道路に接続する道路網についても周辺自治体と協力して整備を促進していきます。

さらに橋梁については、道路と一体となった社会資本であり、その適正な管理及び整備を図っていかなければなりません。そのため、平成25年までに橋梁長寿命化計画を策定し、計画に基づいた修繕及び架け替えを行います。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

鹿児島県南九州市

○重点事項 国県道，地域高規格道路の整備 道路維持の適正管理	○代表事例 国道 225 号，国道 226 号の整備 県道の整備，南薩縦貫道の整備 既存道路の適正な維持管理（区画線，交通安全ミラー等）	○期待する効果や評価等 国道，県道の整備促進により地域経済の活性化が多いに期待されています。従前は鹿児島市内にとどまっていた企業等の進出が道路整備に伴い，地方まで進出が進みつつあります。特に南薩縦貫道整備地域周辺には食品関連企業，娯楽関連企業などの進出計画が持ち上がってきています。 道路区画線が往来する車両のため消えているため，夜間及び雨天時には安全走行がしづらい時があります。区画線等の適正な管理により交通安全の確保が期待されます。また，一時停止線の表示を大きくするなど工夫することによって交通事故の未然防止が期待されます。	○その他
---	---	--	--------------------